

生物学教育研究

東京・生物学教育研究サークル発行 No.468 2017年6月号

2017年6月例会のご案内

日時：6月9日（金） 18：30～21：00

場所：明星学園小中学校理科室

1. 実践報告「生物基礎 生物体をつくる物質」 山崎慶太
2. 実践報告「生物、生物基礎で紹介した沖縄の生物。修学旅行の事前学習として」 浅見直子
3. 『理科教室』5月号読んで 小川郁

生物サークル2017年5月例会のまとめ

日時 2017年5月12日（金）

参加者 小嶋 堀 山崎 鷹取 小川 浅見 川島

司会 浅見（文責）

山麓堆積地（扇状地）とまちづくり（2）災害の要因を調べる 鷹取 健

2014年8月20日の広島市の土砂災害の自然的要因と社会的要因

現地を調査した越智修二さんの結果を参考に

- 自然的要因
- ①記録的な短時間での集中豪雨
 - ②山体の表層が崩壊しやすい風化花崗岩地帯
 - ③急傾斜地の凹地形
 - ④松枯れ跡地
 - ⑤岩石の節理に沿った大量の雨水の流入と地下浸食
- 社会的要因
- ①急な山麓ぎりぎりまでの宅地造成
 - ②「土砂災害警戒区域」「特別警戒区域」の指定の遅れ
 - ③砂防堰堤など土砂流防御体制の不備
 - ④避難勧告、避難指示の遅れ
 - ⑤防災教育を含めた地学教育の不足

自然的要因、社会的要因に沿って詳細なレポートがされた。暗渠などは構造や法律面でまったく知らなかったことが多く大変勉強になった。地学教育の不足は著しい。今年60歳定年を迎える世代以降高等学校の教育課程から地学が必修でなくなっている。私も地学の知識は中学校のままで大学の教職課程で受けた地学の授業、巡検は理解できないことが多かった記憶がある。高等学校では地学を教えられる教員がないから地学基礎・地学は教育課程におかないという悪循環が続いている。こういう現状の中で中学校の地学教育は大変重要である。参加者が大変学ぶことの多いレポートであった。